

## アフリカ市民社会登壇者

### ●アリ・ゼディニ (ZEDDINI Ali)

チュニジア人権擁護連盟副代表。

1956年9月、チュニジア・チュニス出身。アラブ人権研究所理事も勤めている。再生可能エネルギーについて、修士課程で学んだ。現在、チュニジア電気ガス公社戦略研究長として、エンジニアとして働きながら、市民社会活動家として、精力的に人権や持続可能な開発の分野で活動している。2015年ノーベル平和賞受賞の「チュニジア国民対話カルテット」チュニジア人権擁護連盟代表団メンバー。

### ●マウンゴ・ムーキ (Maungo MOOKI)

開発多様性サービス事務局長。

1961年3月27日生まれ。ボツワナ国籍。南アフリカ・ローズ大学でラジオ・テレビ放送のマネジメント学や金融・経済学を修める。社会企業家で、国際コンサルタントとしての勤務経験もあり、CSO(市民社会)/NGOのマネジメントや広報戦略に精通している。TICADVIに向けてはアフリカ市民協議会(Ccfa)代表・南部アフリカ地域選出理事を務めている。

### ●ムンタガ・トゥーレ (Mountaga TOURE)

グーレリ・コンサルティング・TICAD 担当コンサルタント。

1955年11月生まれ。マリ出身。セネガル・シェイク・アンタ・ジョップ大学修士(ビジネス私法専攻)。現在は家族とカナダ在住。マリで、弁護士や、セクシュアル／リプロダクティブヘルス(性と生殖に関する健康)のNGOプロジェクト・マネージャーなどを経て、コンサルタントの道へ。

### ●ウィリブロード・ゼングワ (Willibroad Dze-Ngwa)

ヤウンデ第一大学の政治史、国際関係・平和・紛争学准教授。非識字・紛争・人権侵害に反対するアフリカ・ネットワーク事務局長。

1970年6月生まれ。カメルーン出身。カメルーン・ヤウンデ第一大学で博士号を取得(政治史・国際関係学)。人権、コミュニティー開発など開発学から政治学まで幅広い造詣がある。Ccfaでは副代表(アフリカ問題担当)・中央アフリカ地域選出理事を務めている。

### ●ウマル・ポール・コアラガ (Oumarou Paul KOALAGA)

国際平和外交協会事務局長。

1969年1月生まれ。ブルキナファソ国籍。スペイン・バスク大学の国際選挙監視・支援に関するポスト・グラデュエートコース修了。現在、アメリカのマディソン・インスティテュート・オブ・ビジネス・

マネジメントで地政学の博士課程在学中。国際テロリズムや若者、移民などの知識が豊富。アフリカ連合やジンバブエなどアフリカ各国の選挙監視員などを務めてきた。CCfA 西アフリカ地域選出理事。

●フローレンス・シェヴオ (Florence SYEVUO)

貧困をなくすためのグローバル・コール(GCAP)ケニア事務局長。

1982年9月生まれ。ケニア国籍。ケニア・ケニヤッタ大学修士課程在学中(国際関係・外交学)。ピース・ボートへの参加や、持続可能な環境を作る「ケニア・ヤング・グリーンズ」の調査員として活躍。現在、SDGsケニア・フォーラムの事務局コーディネーターも務めている。CCfA ケニア選出理事。

●ミティカ・ムウエンダ (Mithika Joseph Mwenda)

パンアフリカ気候正義連盟(PACJA)事務局長

1973年11月生まれ。ケニア国籍。ジョモケニヤッタ農工大学で公共政策分析の修士課程在籍中。気候変動の問題に10年以上関わっている。タイ・チュラロンコン大学社会調査研究所(CUSRI)でも国際化と社会変容について学んだ経験がある。気候変動への取り組みを通じて、貧困の削減や持続可能な開発を目指す。